

令和5年第1回半田市議会定例会建設産業委員会委員長報告書

当建設産業委員会に付託された案件については、2月28日、午後1時50分から、議会会議室において、委員全員出席のもと、慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

始めに、議案第1号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

畜産競争力強化整備事業補助金について、国の補助金を活用して、事業者が牛舎のほか、糞尿処理施設を整備することのだが、施設の臭気軽減能力は、どのようか。と
に対し、

今回整備する施設は、開放型の施設であり、密閉型の施設と比較すると、臭気が発生しやすいですが、手順に従って、適切に乾燥、攪拌^{かくはん}を行えば、基準を超える臭気は発生しません。とのこと。

通行量分析業務委託料について、どのようなデータが収集できるのか。とに対し、

スマホを活用することで、その使用者の動きや移動手段、さらに年齢などの属性を特定することができ、その属性に応じた人の動きの傾向を把握することができます。とのこと。

JR 武豊線を高架化することにより、人の流れは、大きく変化すると予想される中で、鉄道高架後ではなく、今、データを収集するのはなぜか。とに対し、

今回の主目的は、名鉄知多半田駅周辺の活性化を検討するための現状把握であり、連動する JR 半田駅周辺も併せてデータ収集を行いたいとするものです。名鉄知多半田駅周辺は、JR 武豊線の高架完了後に、活性化策を検討するのでは、手遅れになる可能性があるため、このタイミングでデータを収集し、高架化と並行して施策を実施することで、中心市街地全体の活性化を図っていきたいと考えております。とのこと。

収集したデータの活用方法はどのようなか。とに対し、

人の流れを把握することによって、どこがにぎわい創出のポイントとなるのかを探り、それに対して効果的な施策を打つことで、中心市街地の活性化につなげたいと考えています。とのこと。

中部知多衛生組合負担金について、予算が減額補正となった主な要因は何か。とに対し、

令和2年度から令和4年度にかけて実施した、し尿処理施設整備工事が早期に完了したことに伴い、令和2年から3年間の継続費の請負差金が生じたことが、主な要因です。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第2号、及び議案第3号の2議案については、それぞれ補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、議案ごとに採決した結果、2議案とも、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。